

## ヨーロッパ世界文化遺産を巡って

鹿児島市保健所長 泉尾 護

鹿児島市医師会会員の皆様、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

8年前に巡ったヨーロッパ世界文化遺産の旅物語をしたいと思います。2週間の長期休暇が6月に取れたのを機に、ヨーロッパを旅してきました。何か目的をもっていこうと、世界文化遺産の歴史地区や遺跡を巡りました。

関空からオランダのアムステルダムへ2泊、列車で移動し、ベルギーのブリュッセルに立ち寄ってからブルージュで2泊、ハーグを街歩きした後アムステルダムへ戻って1泊、夜行列車でチェコのプラハへ移動し1泊、バスでチェスキークルムロフへ1泊、プラハに戻って1泊、列車でポーランドのクラクフに3泊、さらにワルシャワへ1泊、飛行機でアムステルダムへ戻って1泊、翌日関空へと帰ってきました。

アムステルダム空港の入国審査では1時間余り足止めをくいました。中近東や中南米系の人たちがたむろしている別部屋へ呼ばれ2人の若い女性審査官から旅行の目的、宿泊リストや現金提示など尋問を受けました。初めての経験です。怪しそうな雰囲気があったのでしょうか。後で分ったのですが、新人審査官の練習台であったようです。上司の指示を受け、ご丁寧にも2人の美女が私の両脇を固め、空港内の鉄道駅まで送ってくださいました。おかげでゴッホ美術館に行きそびれました。アムステルダムの中心地に泊まったため、ホテルも食事も高額でしたが縦横する運河が指標となり、夜中でも街歩きができました。

ブルージュは以前に旅したマレーシア旅行

の機中で隣席となったベルギー人に是非にと勧められた町です。北海に近く、緑豊かで運河も風車もある美しい街でした。ホテルは瀟洒な2階建てでしたが、カギを持たずにいたため、ロビーに入るまでの外門が閉まっていた、中に入れず困り果てました。ヨーロッパの小さなホテルはカギを忘れずに。旧市街ではロブスターとビールを堪能しました。

プラハはヴァーツラフ広場やカレル橋が有名な旧市街を中心として広がる赤色を基調とした美しい街です。ミッションインポッシブルの映画の舞台になっています。2泊目はヴルタヴァ川に浮かぶボートハウスに泊まりました。

チェスキークルムロフはプラハからバスで3時間のボヘミア平原南部にある中世のままの美しい小さな街です。ヨーロッパはどこも教会を中心に街が広がっています。物価が安く、ワインが旨かった。

クラクフは旧ユダヤ人街のホテルに泊まり、翌日は徒歩でシンドラーのリストで有名な元は鍋工場のファクトリーミュージアムへ、日帰りバスツアーで2日目は鉾山トンネルや何世紀も前の塩の彫刻が壊れずに保存されているヴィエリチカ岩塩坑、3日目はこれぞ人類の記憶に残すべき世界遺産、アウシュヴィッツへ行ってきました。

ワルシャワの街は先の大戦でほとんど消失しましたが再建され、高さのそろった建物が整然と並ぶ美しい街並みと緑豊かな公園が印象的でした。

取り留めない旅行記ですが、ヨーロッパ世界文化遺産の楽しかった思い出をお話することができて幸いです。